



翔 通信 2月号



◆ 『自分に問う！』

■ 素直な人は伸びる！「自分のこととして考え・行動できる」ことが大切！

私自身が考える『素直』とは、何でも「はい！」と言えることではありません。行動に移せることが大切だと思っています。ただし、ここには条件があります。それは、どちらも**真剣**である、**前向き**であるということです。そういう姿勢がなければそこでの話が無駄になることが多いのです。つまり、どちらにも改善欲や向上欲が芽生えていないと、行動に移せるようになることは難しいのです。さらに言えば、話す側は『実感』していることが話の中心でなければならないのです。また、素直に行動するにおいても、伸びる人はその人なりの**ルール**を持っています。自分があるのです。アドバイスされたことを行動に移す前に**自分のこととして考え行動に移せる**のです。

■ 続けられる人は強い！「本気度と続ける仕組みをつくる」ことが大切！



勉強やスポーツ、仕事でも言えることですが、成果を出している人は目標や目的意識、自分なりの行動スタイルをきちんと持っている人が多く、何が何でも達成したいという意欲が人一倍強いと思います。成果を上げるためには、行動しなければなりません。その行動の原動力になるのが**夢**や**目標**、**目的意識**だと思います。本当に目標が心の底から達成したいというものになっているかがとても大切になります。また、行動するにおいても**成果を上げる行動の仕方**を身につけなければなりません。例えば、勉強を2時間毎日やるという行動ができるようになっても次にその2時間の内容が問われるようになるのです。その時に知っておいてもらいたいことが「**小さな定着を確実に積み重ねていく！**」ということです。そこで問われるのが「**繰り返し力**」です。「**繰り返し力**」を作るためには、1日、1週の自分の行動の型が必要になります。それをきちんと作り、行動を続けていくことで定着度が強まってきます。同じことを気持ちを入れて繰り返すことで、**確かな成果に繋がる**はずです。



■ “真剣”な人の可能性は無限大！「一生懸命に取り組む」ことが大切！

人の可能性は無限大とよく言われます。しかし、そこには「**一生懸命に取り組んでいる**」という条件が必要となります。努力をしないで可能性が広がることは滅多にありません。仮に可能性が広がることかあつても、誰かの助けかあつたり、たまたまの結果でそつなつていると考えた方がいいでしょう。やはり何かにチャレンジし、達成することは容易ではありません。しかし、自分の達成したいという気持ちが強ければ、同じことをやるにしても苦になりません。そして、大切なことは、「**自分というものがそこにあるか？**」ということです。

まずは明確な目標をもち、そのために日々の積み重ねを気持ちを入れて取り組むということです！！そして、可能性を信じ、行動し続けることで自分自身の可能性を広げて下さい。

	<p>◆ 城西校 (213) 4520 ◆ 荒田校 (297) 6510 ◆ 武 校 (812) 8901</p>	<p>◆ 伊敷校 (216) 8146 ◆ 中山校 (297) 6942 ◆ 吉野校 (295) 7930</p>	
---	---	---	---

◆ 『 今月の教科別重要ポイント 』

		<p>毎月のカリキュラムから、各教科主任の先生たちが皆さんに重要ポイントを告知します。皆さんが学習する中で、特に気をつけてほしいことを載せています。学年厳選ですので自分の学年は要チェックです。㊟テクニックもお見逃しなく！</p> <p>※ 2月は、学年末テストがあります。範囲も広がります。しっかり準備をして臨もう！</p>	
国語	中1, 2	<p>2月には、学年末テストが実施されます。今回のテストは、3学期に習った範囲は、もちろんですが、1、2学期に習ったことも出題される可能性があります。学習計画を立て、早めに勉強をスタートしましょう！ワーク、そして漢字の勉強をしっかりと、自己最高点が取れるように頑張ってください。</p>	
理科	中2	<p>2月は物理の「電気」を学習します。実力問題や入試で非常によく出題される単元になります。ポイントは「公式」！計算問題を公式にあてはめて、スムーズに使えるまでやりこもう。また、覚えるときには必ず単位ごと覚えるようにしよう。</p>	
英語	中1	<p>中1のみんなこんにちは。中学英語が始まってからもう3学期。単語、文法が増えてきていますが確実に書けるようにしよう！今回は『過去形』。ポイントはbe動詞または一般動詞を過去形にするだけ!!過去形の単語は難しいけど大丈夫。翔の「㊟不規則単語60」プリントを先生にもらってすぐ覚えよう。</p>	
社会	中3	<p>1月下旬より、私立高校入試が始まります。いよいよ入試本番です。私立問題のポイントは「①細かな知識、②時事」が問われるということです。昨年では保元の乱・地方分権一括法など公立入試ではあまり問われない語句が出題されています。「教科書の隅々まで」を意識した準備をしていこう。</p>	
数学	中2	<p>3学期では確率という単元を習います。高校では、公式を使って計算をすることが多いですが、中学生で習う樹形図や表を使って解く場合も多いのです。確率は入試問題にも高確率で出てきますので、2年生のうちに色々なパターンの解き方をしっかり身につけておきましょう!!</p>	
小学受験	小6受	<p>私立入試が始まり、いよいよ本番です。今まで取り組んできたことがいかに発揮できるよう、直前まで気を引き締めていこう。また、受験が終わったあとは、きちんと中学準備にきりかえましょう。受験を通して身につけたことが、今後活きるかどうかは自分次第です。未来につながる取り組みを期待しています！</p>	
小学S	小6	<p>翔では2月・3月にかけて、3学期の内容だけではなく、数学と英語の先取り学習を進めていきます。小学校とは呼び方も変わる数学では、2学期前半前半までの内容である「正負の数」「文字式」の考え方を学んでいきます。全員中学校で好スタートがきれるようにしよう!!</p>	

★上記の教科については今回特に注意が必要な学年・教科となります。しっかり読んで、日々の学習に取り組みましょう。

鹿児島県をもっと！

第10回 「龍門滝(りゅうもんだき)」



始良市加治木町に龍門滝はあります。高さ46m、幅43mのこの雄大な滝は、古来から薩摩の名所とされ、「日本の滝百選」にも選ばれました。

昔、唐人がこの滝を称して「漢土の龍門瀑を見るが如し」と言ったことから、龍門滝と呼ぶようになったと伝えられています。漢土の龍門瀑とは、黄河の上流にある峡谷のことで、このあたりは、すさまじい勢いで水が流れ落ちていました。「普通の魚ではこの流れをとでも登り切れない。もし登り切れれば、魚はたちまち龍と化すであろう」私たちが難関を突破する際に「登竜門」という言い方をしますが、ここに起源があります。

荒々しく巨大な岩肌を、水が激しく流れ落ちていきます。思いっきり深く深呼吸をすると、周りがマイナスイオンで包まれているのを感じることができる迫力と癒しの滝です。

翔 スピリッツ

人生のヒントを偉人の名言から学ぼう！



戦いは最後の5分間にあり。

ナポレオン

19世紀初めのフランスの皇帝・軍人(1769～1821)ナポレオンの言葉を紹介します。自軍がイギリス軍に包囲されエジプトに取り残される中、フランス総裁政府が弱体化していることを聞きつけ、側近たちと秘密裏に、総裁政府へクーデターを仕掛けます。危機を一気に好機に変え、その後に新政府を立ち上げます。

いくら優勢でも、最後まで気を抜いてはいけません。いくら劣勢でも、最後まであきらめてはいけません。本当の戦いは最後の5分間にある。わずか5分間に、どんなどんでん返しがあるか分からない。最後の最後まで気を引き締めてやりきろう！

キミは解けるかな？

勇気がないのはどっち・両親説得大作戦！！

1. 花子さんと松子さんはある乗り物に乗りました。花子さんは怖がりながら途中で降りましたが、松子さんは最後まで乗り物に乗ったままでした。ところが、皆から「勇気がないな」と言われたのは松子さんでした。どういうことでしょうか？
2. 18歳の花子さんは40歳になる太郎からプロポーズを受け、結婚することにしました。しかし両親に「倍以上年齢が離れているから結婚は認めない。」と結婚に大反対されました。花子は両親の言葉に対しある言葉を言い放ち、なんとか納得させることができました。ある言葉とは？
3. こまかくすると重くなるものは何？





今までのキミ、これからのキミ



『全ては自分次第！』

学習についての環境は？と尋ねてみると、勉強部屋がないので欲しい！周りが騒々しいので静かな環境でやりたい！など、今の自分が望むものから考えることが多く、恐らくその望みはいつまでたっても満たされることはないと思います。なぜなら、人の欲はどんどん膨らんでいくものだからです。

◆ 『環境』は、自分で作っていくものです！

色々な分野で成功した人の話に共通していることは、「目標」と「ハングリー精神」を強く持っており、「プラス思考」で物事をとらえ、自分の成功を常にイメージし、積極的に行動しているということです。

自分に都合の悪い『環境』になったら、すぐに周りの人やもののせいには決してしない。全ての結果は自分に責任がある(自分が招いたもの)と考えているのです。全ては自分次第なのです。

私は、学生時代に読んだ本の中でドキッとしたフレーズがありました。それは、「ため息人間」と「人間の最低条件」という言葉です。

「ため息人間」とは、いつも「ああすればよかった」などと後悔ばかりしている人のことで、どんな悪いことをやった人よりも真っ先に地獄に送られると書いていました。その頃の私はまさしくその「ため息人間」だったような気がします。

また、「人間の最低条件」とは、「伝統に従うのでもなく、他人の言うままに動くのでもなく、自分の責任において行動すること」と書いてありました。私は今でもこの言葉を自分のバックボーンに据えています。

◆ 「行動」を整理整頓する！…目標でなく行動を修正しよう！

結果を出す人は「目標＝心の底から達成したいもの」であり、目標をころころ変えたりしない。ところが、結果を出せない人は「目標＝あこがれ」であり、心の底から達成したいと思っているわけではないので、やろうと決めたこともほとんど長続きしない。それは、目標達成や行動の原動力となる「動機」が不十分だからです。

この「動機」の灯をつけるには、目標を一つに絞り、達成期限を具体的に設定することが大切です。結果から次の目標を修正することはとても良いことのように思えますが、実はそうではないのです。

例えば、目標50番(学年順位)に対して結果は90番だったので、次回の目標を70番に修正して頑張った結果は60番でした。向上したことは評価できますが、実は「真の目標」になりえないのです。

結果が悪かった、達成できなかったからと安易に目標を変えることは決してやるべきではありません。目標をころころ変えていては問題解決にならないのです。全ては原因の解決と行動にあるのです。

成績が伸びている生徒、伸び悩んでいる生徒には明らかに意識と行動に大きな差があります。

さあ、新たな1年もすでにスタートしています。真剣にこれからのキミに期待してみませんか。